

平成17年度 仏教テレフォン相談 統計分析

平成17年6月1日～平成18年5月31日

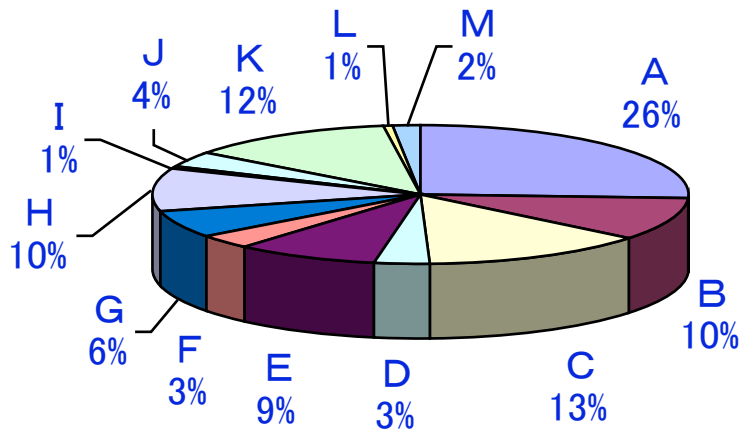
[23年目]

相談開室日数	216日
相談者数	3,564人
1日平均相談者数	16.5人
相談総件数	4,465件
1日平均相談数	20.7件

大分類

	(件)
A 人生相談	1,150
B 信仰、教義、仏教文化や学問など	454
C 葬儀、法要、供養、永代供養	599
D 戒名・法名	153
E 寺院・僧侶・既成教団の在り方や運営	383
F 仏教の年間行事、特殊法要	153
G 家庭での祀り方やお勤めなど	277
H 仏事の常識やマナー	449
I 祈祷（既成寺社での）	33
J 占い、六曜、新宗教トラブルなど（既成仏教以外のこと）	162
K お骨・埋葬、墓地・墓石	551
L ペット・針・人形などの供養	29
M その他（時事問題や仏教以外の行事など）	72
	4,465
N 行政機関やマスコミからの問い合わせ	19

平成17年度相談項目大分類

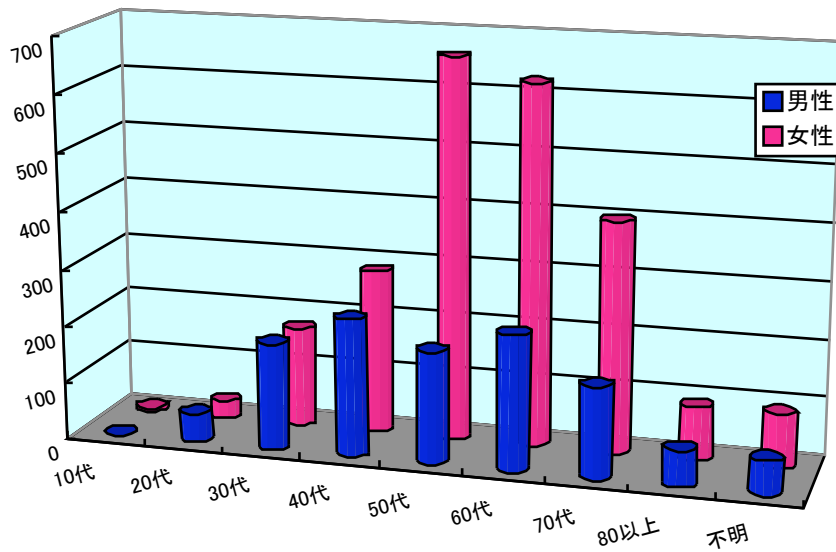


男女比

男性 33.3%

女性 66.7%

	男性	女性
10代	1	6
20代	51	31
30代	186	175
40代	239	286
50代	195	664
60代	235	626
70代	158	402
80以上	63	93
不明	59	94
	1,187	2,377



分析結果の概要

テレフォン相談は社会の窓であり、そこには、さまざまな悩み、苦しみ、救いを求める声が寄せられる。その小さな窓から垣間見える現代社会の現象を考察してみたい。

ここ数年で民間相談所の数が増加した。団体数だけでなく、専門に分かれた相談場所が多くなった。法律・医療・金銭という大きな分け方ではなく、法律なら相続に関してとか、医療なら末期がんの相談とか、細分化された相談所が多くなった。

相談したいことを、その専門家が答えてくれるのだから相談者もずいぶん便利になったと思う。

そのように電話相談ができるところが増えたというのに、一向に我が仏教テレフォン相談の電話は鳴りやまない。それどころか、同じ人が毎日（多いときには一日に数回）電話を掛けてくる。統計からは、そのような人たちの数が増加している。

その方たちの多くは、よそに相談したら「仏教情報センターに相談しろ」と言われたとか「どこでも話を聞いてくれない」などと言って電話してくる。

相談所の数が増えても、受けとめてもらえない人や、その相談所のカテゴリーに当てはまらない方もいる。特に人生の悩みは、そう単純なものではないのだ。仏教テレフォン相談は、そういった網の目から漏れた方々の救いの場所にもなっていることが統計から垣間見える。

仏教テレフォン相談の電話は今日も鳴り響く。